

学 校 関 係 者 評 価 報 告 書

評 価 実 施 日	令和5年2月20日（月）
委 員	福祉関係者
	保護者代表
	地域有識者
	医療関係者
	教育関係者

評 価 ・ 提 言 等	提言等に対する改善方策等
<p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学習指導・言語指導 教員の自己評価が低くなっている。コロナ禍の中で苦慮をしての結果だと思われる。図書室の整備と図書の充実を図ってほしい。1人1台端末等で電子書籍を利用することも考えるとよい。タブレット端末によるリモート授業の活用の方法も考えてほしい。</p> <p>(2) 特別支援教育体制 キャリアパスポートに関する項目の児童生徒の評価が低い。来年度はキャリアパスポートを導入して3年目になるので、具体的な改善策が必要である。進路支援では、子どもに寄り添った支援ができ、進路先が決まっている。現在、学校と医療、行政の連携が十分に取れていない。</p> <p>(3) 生徒指導 新型コロナで制限のある中、工夫して行事を行っていることが分かった。交流も多く、来年度の活動にも期待したい。体育館での運動会実施は斬新な考えだと思う。地域の清掃活動を生徒たちが協力をして行ってくれている。地域としても助かっている。</p> <p>(4) 業務改善 ノー残業デーが十分に機能していない。リモート会議をもっと取り入れていくべきではないか。対面が適しているものとリモートで良いものがあるので、今後もうまく活用して先生方の負担を減らして行ってほしい。</p>	<p>・ 図書の充実については、委員の意見を伝えて購入できるようにしていく。また、タブレット端末の活用について改めて検討する。</p> <p>・ 小学部は児童がキャリアパスポートを記入するのに時間がかかるためあまり活用できていない。記入の方法などを検討する。高等部は進路の出口となる現場実習が多く、実習日誌の記入に力を入れているため、キャリアパスポートがあまり活用できていない。今後の活用を検討する。関係機関との連携についてはこちらから積極的に働きかけていく。</p> <p>・ 交流については新型コロナの影響で実施できなかったものもあるため、来年度はさらに充実できると考える。運動会は来年度も体育館で実施する予定である。</p> <p>・ ノー残業デーを来年度は月4回に増やす。また、教育相談などは対面で行うが、リモートにできるものは取り入れていく。</p>

2 学校運営への提言

情報発信をより積極的にしていただきたい。自分が住んでいる地区で防災担当をしているが、障がいを持った方の防災について情報がなく困ることがある。また、小さなことでもよいので委員に投げ掛けて、外部の力も借りながら教職員の負担を減らしてほしい。

・ 郊外への情報発信を増やし、外部の協力と連携を活用して改善をしていく。